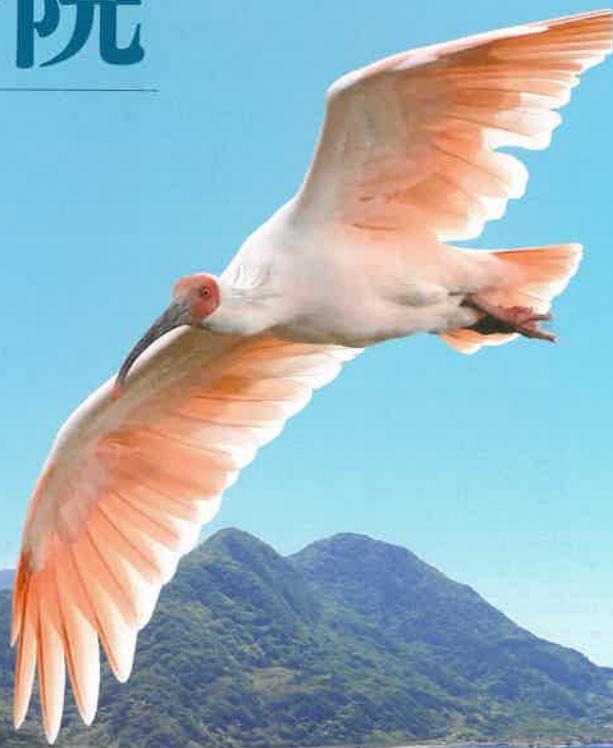


# 佐渡総合病院

令和  
8年度

臨床研修のご案内



# ごあいさつ



新潟県厚生連佐渡総合病院病院長 佐 藤 賢 治

佐渡ヶ島、新潟県佐渡市は周囲260km余り、東京23区の1.4倍の面積を持つ日本最大の島で、2025年4月時点で人口約46,000人、高齢化率は43%を越えます。地理的特徴と人口規模から単独で二次医療圏であり、二次医療圏としては最先端の超少子高齢社会でもあります。

佐渡総合病院は、病床数354、標榜科25、職員数620名（医師数48、研修医10）を擁し、外来患者数約1,000人/日、島内救急搬送のほとんどを受け入れ（年間搬送件数2,500）、ヘリポートを備えて年間離発着数90件以上、島で唯一手術・分娩・透析が可能な中核病院です。また、新潟県に6つある感染症指定医療機関のひとつで、へき地医療拠点病院、災害拠点病院の指定も受けています。急性期医療だけでなく、回復期医療の2/3、外来診療の1/3も担っており、急性期から在宅復帰まで一貫した診療の実践が当院の大きな特徴です。

少子高齢化が著しい佐渡ですが、これは地方の特徴ではありません。2030年以降は都市部を除くほぼすべての地域で佐渡と同じ人口構成になると予測されています。人口が集中してきた都市部では、地方を遙かに凌ぐ量で後期高齢者が増加します。超少子高齢社会では疾患構成が急速に変わっていきます。医療福

祉など社会保障が本来目的とすべき「地域住民の生活」を強く意識しなければ、医療も介護福祉も後手となり、対応する働き手が減少する中で行き場のない高齢者が積み上がることになります。医師を目指すみなさんには、こうした社会変化の真っ只中にいるだけでなく、リーダーシップを発揮し始める時期には超高齢社会の医療を采配する立場になります。

佐渡では、迫り来る超少子高齢社会に適応できる社会保障はどのような姿なのか、検討が進められています。医療情報を共有する地域医療連携システム「さどひまわりネット」、住民の生活関連情報を共有して医療福祉連携を進める「さどヘルスケアナビ」、行政・医療・介護・福祉関係者が集まって対策を協議する「一般社団法人佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会」、国・新潟県・研究機関・民間企業との多方面にわたる対応モデルの検討など、他地域のすぐ先の未来に参考になる取り組みです。超少子高齢社会であること自体が佐渡の価値であり、佐渡で学ぶ意義です。

医療技術だけでは社会の需要に対応できない時代が始まっています。「連携の中で、医療を担い、住民の生活を守る」医療を直視するみなさまをお待ちしています。



# 1

## はじめに

佐渡島内の約4万6千人の独立した二次医療圏において、佐渡総合病院では誕生から看取りまで、急性期から回復期までの様々な疾患を研修することができます。医療、福祉、介護も含めた、全人的なプライマリ・ケアの基本的な診療能力の取得ができるように臨床研修プログラムを作成しています。

# 2

## 臨床研修プログラム

### ①佐渡島臨床研修病院群研修プログラム

#### 〈構成〉

**基幹型病院**：佐渡総合病院

**協力型病院**：新潟大学医歯学総合病院、北里大学病院、新潟医療センター、長岡中央総合病院、柏崎総合医療センター、上越総合病院、糸魚川総合病院、東京西德州会病院、八尾德州会総合病院

**協力施設**：佐渡保健所、佐渡市立両津病院、岩首診療所、さど訪問看護ステーション、新潟県庁



#### ・救急部門研修

1年次：北里大学病院救急救命センターで4週および佐渡総合病院で上級医と共に救急外来で21時までの副直を月2回行う。

2年次：上級医と共に救急外来で当直を月2回、日直を月1回行う。

#### ・選択科目においては協力型病院、協力施設で最大12週の範囲で研修可能である。

(地域医療研修を除く)

研修分野		研修施設	期間
必修	内科・一般外来	佐渡総合病院	28週
	外科・小児科・産婦人科	佐渡総合病院	各4週
	精神科	佐渡総合病院・新潟大学病院	4週
	救急	佐渡総合病院 北里大学病院救急救命センター	8週 4週
	地域医療	佐渡市立両津病院	4週
選択	麻酔科、放射線科等	佐渡総合病院・新潟大学病院・他厚生連病院など	44週

#### 研修スケジュールの例

1年次	内科28週 (一般外来含む)	小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	救急12週 (当院8週/北里大学4週)
2年次	外科 4週	地域医療 4週	選択44週 (協力型病院研修12週以内を含む)		

希望により途中で変更可能  
基幹型研修医を優先し、各科指導医と1対1になるよう調整（科により2名の場合あり）

## ②佐渡総合病院 産業医資格取得プログラム

研修分野		研修施設	期間
必修	内科・一般外来	佐渡総合病院	28週
	外科・小児科・産婦人科	佐渡総合病院	各4週
	精神科	佐渡総合病院・新潟大学病院	4週
	救急	佐渡総合病院 北里大学病院救急救命センター	8週 4週
	地域医療	佐渡市立両津病院	4週
選択	麻酔科、放射線科等	佐渡総合病院・新潟大学病院・他厚生連病院など	40週
	保健医療行政	新潟県庁	4週

- 構成、救急部門研修は、①プログラムと同様
- 選択科目においては協力型病院、協力施設で最大12週の範囲で研修可能である。

### 研修スケジュールの例

1年次	内科28週	小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	救急12週 (当院8週/北里大学4週)
2年次	外科4週	地域医療 4週	新潟県庁 4週	(協力型病院研修12週以内を含む) 選択40週	

## 3

### 病院基本情報

令和7年4月現在

#### 基幹型研修病院：厚生連佐渡総合病院

病床数 354 床（一般 290 床、精神 60 床、感染 4 床） 医師数 57 名（うち研修医 10 名）

診療科 25科 内科、神経内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、心血管外科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、精神科、形成外科、歯科、口腔外科、呼吸器外科、放射線治療科、リハビリテーション科

年間退院患者数：5,290 人（令和 6 年度実績）

一日平均入院患者数：309 人（平均在院日数 一般 16.9 日、精神 68.5 日）

一日平均外来患者数：992 人

救急医療の実績：7,597 件（うち診療時間外 6,625 件）

救急車取扱件数：2,506 件（うち診療時間外 1,534 件）

## 4

## 研修管理委員会

研修実施責任者	佐藤 賢治	外科	病院長
研修管理委員長プログラム責任者	鈴木 啓介	内科／救急	副院長
研修管理委員プログラム副責任者	後藤 文洋	小児科／地域医療	小児科部長
研修管理委員	三瓶 一弘	神経内科	副院長
研修管理委員	和田 真一	内科	診療部長
研修管理委員	川崎 昭一	巡回診療	地域連携支援部長
研修管理委員	梅澤 源之		事務長
研修管理委員	川上 善博		看護部長

## 5

## 研修の評価

研修の評価は、研修医自身と指導医がそれぞれ評価を行い、各科目が終了した時点で研修管理委員会に提出します。研修管理委員会はこの評価の記録を保管するとともに、結果を研修医並びに指導医へフィードバックし、未達成の項目があれば更に研修が受けられるよう支援します。基本(内科、小児科、外科、産婦人科、精神科、救急)並びに地域医療が終了した時点で未達成の研修項目がある場合には、選択期間の一部で該当の研修を行います。

## 6

## 研修修了の認定

研修管理委員会は基本科目、必修科目が終了した時点でそれまでの研修評価をまとめ、到達度を判定する。基本、必修科目に未達成の項目がある場合は選択科目の全部または一部を振り替えて、該当科目の研修を行います。

研修管理委員会は全ての評価を総合し、研修目標が達成したと確認した場合その旨病院長に答申します。病院長は研修管理委員会の答申に基づいて研修修了を認定し、臨床研修修了証書を交付します。

## 7 研修医の待遇

身 分 : 常勤

勤務時間 : 8:30~17:00

休 暇 : 休日 土・日・祝祭日

: 有給休暇 1年次 年間10日間  
2年次 年間11日間

: 年末年始休暇あり

: その他特別休日1日あり

日当直 : 2年次のみ月平均3回  
(宿直2回、日直1回)

: 1年次は午後9時までの副直 月2回

給 与 : 【月額】

1年次 基本 給 350,000円

離島手当 100,000円

諸 手 当 厚生連規程により支給

月額平均 500,000円程度

2年次 基本 給 380,000円

離島手当 100,000円

当直手当 19,400円/回

諸 手 当 厚生連規程により支給

月額平均 600,000円程度

賞 与 : なし

宿 舎 : あり

单身用(借上住宅1K~2K)

家賃一部負担有

(2,000円~6,000円)

世帯用 ※ご相談に応じます。

研修医室 : あり

社会保険 : あり

健康保険 : 新潟県農業団体健康保険組合

年 金 : 厚生年金

雇用保険 : あり

医師賠償責任保険:

病院において加入。個人加入は任意

健康管理 : 年2回の健康診断

外部の研究活動

: 学会・研究会への参加 可

: 学会研究会への参加費用支給 あり

(2年間200,000円以内)

赴任旅費 : 引越代金支給(規定により上限あり)

## 8 研修終了後の進路

研修後の進路については、病院長はじめ研修管理委員会は誠意を持って相談に応じます。

## 9 令和7年度研修医募集要項

1) 定 員 : ①プログラム 5名 ②プログラム 1名

2) 募 集 方 法 : 公募

3) マッチング : 参加

4) 募 集 資 格 : 既に医師国家試験に合格した者、および令和8年3月の医師国家試験受験予定者

5) 申込み締切日 : 令和7年8月15日まで(但し、9月中旬まで調整可能)

6) 選 考 方 法 : 面接

7) 面 接 会 場 : 佐渡総合病院(オンライン可能)

8) 面 接 日 : 令和7年8月18日(月)~9月5日(金)(但し、受験希望者により9月中旬まで調整可能)

9) 応 募 書 類 : 研修申込書、健康診断書、履歴書、卒業(見込み)証明書(研修申込書及び履歴書以外は後日可)

10) 書 類 提 出 先 : 佐渡総合病院総務課 玉木 和彦

〒952-1209 新潟県佐渡市千種161番地

TEL:0259(63)3121 FAX:0259(63)6349 e-mail:soumu@sado-hp.jp

11) 病院見学/実習 : 何時でも受け付けています。下記まで気軽にお問い合わせ下さい。

TEL:0259(63)3121 FAX:0259(63)6349

e-mail:soumu@sado-hp.jp

研修実施責任者 佐藤 賢治 総務課長 玉木 和彦

## 指導医からのメッセージ



### 医学学生の皆様へ

研修管理委員長

プログラム責任者 鈴木 啓介

当院の臨床研修では、一般的な疾患から3次救急までの様々な症例を入院から退院までを通して受け持つ事で全人的なプライマリーケアの基本的な診療能力を身につけることが可能です。また、それぞれの研修医の希望に応じたオーダーメイドの研修プログラムの作成を目指しています。



副プログラム責任者 後藤 文洋

当院は島内最大の総合病院であり、ほぼ全科が揃っています。新生児から成人、高齢者まで人生を診る経験ができます。また離島の病院のため、ある程度の医療は当院で完結させる責務があり、プライマリーケアから外傷等まで幅広い疾患が学べます。2つの大きな軸を持った当院で研修してみませんか。



## 先輩からのメッセージ

研修医 市原 佑樹

佐渡総合病院は、新潟県の離島・佐渡島に位置する、地域の中核病院です。島内の病床の約8割(354床)を担い、島の人口約5万人のうち半数が現在通院中、もしくは通院歴があります。外来診療から急性期医療、回復期まで、患者さんの生活に寄り添う幅広い診療をカバーしています。

島内唯一の急性期病院であり、「逃げ場のない救急医療」を担う最後の砦として、佐渡島全域の救急医療に対応しています。感冒症状や胃腸炎といった軽症から、多発外傷、大動脈解離、脳出血といった重症例まで、あらゆる患者が搬送されてきます。研修医はこうした救急患者の初期対応を担い、問診・診察・検査オーダーから、アセスメント・治療方針の決定まで、すべての流れを自分の手で経験できます。もちろん、常に上級医が近くにいるため、困ったときにはすぐに相談できる環境が整っています。

一通りの診療科がそろっており、CT、MRI、心臓カテーテル、内視鏡、透析室、手術室など、初期研修に十分な医療設備も整備されています。病院は適度な規模感で、スタッフ同士の距離が近く風通しの良い、温かみのある職場です。

研修プログラムも柔軟性が高く、自由選択期間が長いため、自分の興味や課題に応じて科の選択や再履修も可能です。「あの科をもう一度回りたい」「この分野をもっと深めたい」といった思いにもしっかりと応えてくれる体制が整っています。また、新潟県のイノベーター育成臨床研修コースや県庁での行政医師研修など、3年目以降に社会医学や医療政策に関心を持つ方にとっても、貴重なキャリア形成の機会があります。

仕事が極端に忙しすぎることなく、メリハリのある生活が送れるのも魅力のひとつです。しっかり働き、しっかり学び、しっかり休む。そんなバランスの取れた研修生活が可能です。

佐渡の自然環境は、休日の過ごし方も豊かにしてくれます。海や山、森林といった美しい自然が四季折々の表情を見せ、アウトドアや観光も楽しめます。2024年には「佐渡島の金山」がユネスコ世界遺産に登録され、歴史的な魅力にも注目が集まっています。

2年間限定の“離島ライフ”は、きっと一生の思い出になります。ぜひ一度見学に訪れ、佐渡の空気と、病院の雰囲気を肌で感じてみてください。きっと、ここでしか得られない経験があなたを待っています。

## ◆病院紹介



屋上ヘリポート



屋上庭園



手術室



講演会 (講堂)

自然豊かな佐渡で  
研修生活を  
送りませんか



新潟県厚生農業協同組合連合会

# 佐渡総合病院

〒952-1209 新潟県佐渡市千種161番地

TEL:0259(63)3121(代表)

<http://www.sadosogo-hp.jp>

E-mail:soumu@sado-hp.jp